※令和４年度以降入学生用

学校番号	3033

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	書道Ⅰ（教育出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・前課程での書写を受け、芸術科書道では書の歴史や用具用材など更に深く探求します。

・漢字の様々な書体や仮名文字などの多くの古典を臨書・鑑賞し、自己の表現の幅を広げます。

・「書」を生活に取り入れ楽しめる作品を作り、それにより書への親しみを深めたいと思います。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生徒が感性を豊かにし、書の伝統文化についての理解を深めるよう導く。また書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばす。

A)　古典の学習を通し、時代背景や表現方法の多様性を理解し、作品を表現するための技術をを身につける。
B)　自分の意図や構想に基づいて作品の表現を工夫したり、書の伝統と文化について考え、書の美しさを自ら味わいとらえられるようにする。
C)　主体的に活動や創作に取り組み、書のよさに気づきより良い書表現を目指す態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。また、古典の時代背景や歴史について理解している。 書写能力の向上とともに、作品を効果的に表現するための基礎的な技術を身につけ、表現している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の美を味わったり、書の表現に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	書写と書道	・国語科書写と芸術科書道について ・書体の変遷と様々な書体を知るとともに、それを表現する用具用材についても知る	a:国語科書写での基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 b:様々な書体について理解し、それを味わっている。 c:今後の学習の基本となる文字についてや用具用材に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	提出作品	ワークシート	観察 ワークシート
	漢字の書	・古典の臨書 ・１字書作品の創作	a:基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し表現している。 b:古典の書の美と技法を学び、表現を工夫している。また、自らの作品を創作する上で技法を取り入れようとしている。 c:古典に基づく学習の意義と臨書に関心を持っている。創作することに楽しみを待ち、それを作品として完成させるまでの過程を積極的に取り組もうとしている。	提出作品	ワークシート	観察 ワークシート
２学期	篆刻	・姓名印制作	a:印刀による彫り味を生かしながら、趣のある印を制作する技法を身につけている。 b:方寸の世界のおもしろさを理解し、表現を工夫している。 c:自分の名前調べを通し漢字の書体に関心を待ち、自分の印を作る喜びを味わっている。	提出作品	ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字かな交じりの書	・カレンダー作品 ・言葉選び ・紙面構成	a:漢字と仮名の調和した表現について理解し、紙面全体の構成の工夫の大切さも理解している。 b:用具用材や墨色によって、線質や表現の違いが生まれることを知り、表現を工夫している。 c:制作後実際に使用できる「カレンダー」という素材に、創作意欲を持ち積極的に取り組もうとしている。	提出作品	ワークシート	観察 ワークシート
３学期	工芸的作品制作	・鏡作品の制作	a:渇筆などの転写を工夫し、仕上がりに生き生きとした動きの表現をもたらしている。仕上げの板への装飾も充分に考えられ、それがいかに「書作品」を引き立てるかを理解している。 b:15cm 四方の鏡に布字する言葉を丁寧に考え、その構成を工夫している。仕上げ板への装飾も言葉との調和性を考え工夫している。 c:書を生活に生かす作品制作に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	提出作品	ワークシート	観察 ワークシート
	仮名の書	・仮名文字の基礎と表現 ・うちわ作品の制作	a:仮名の基本的な筆使いを理解している。 b:仮名の基本線に慣れ、漢字とは違った美しさを表現しようと工夫している。 c:仮名文字に対し関心を持ち、主体的に美しさを味わおうとしている。	提出作品	提出作品 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度